

# 厚生教育

## 南小学校改造工事の 実施設計業務

■10月27日開催

経過報告

平成28年4月28日に入札を実施し、5月2日に11月30日までの納期で業務委託契約を締結した。設計担当職員の体調不良により平成29年3月31日まで納期を延長した。その後同じ理由で延長願いが提出され、10月6日に完了検査を終えた。

【主な質疑応答】

**問** 今回のケースは、全庁的に対策が必要ではないのか。

**答** 今後、入札のあり方やペナルティーの関係などについては、入札参加者審査会で検討していく。

**国民健康保険制度改革**  
平成30年度から国民健康保険は都道府県と市町村の共同運営に変わり、市町村において準備が進められている。

【主な質疑応答】

**問** 今後、医療費が伸びた場合に国民健康保険税を上げなければならない状況になることも想定されるが、翌年度以降の保険税は。

**答** 医療給付費が伸びた時に不足する財源として、町には国民健康保険の財政調整基金があり、現在、それを取り崩して対応している。

■11月29日開催

**広域ごみ処理事業**  
今後、工事の進行状況などについて周知するため、年4回リーフレットを作成する。

現在の状況は、旧ごみ処理施設の内部除染作業を終え、内部の施設・構造物などの撤去に取り掛かっており、進具合は全体の約3%程度である。

【主な質疑応答】

**問** 調査の縦覧により、どのような意見が提出されたのか。

**答** 沿道の環境・水質・交通量については各1件、騒音については2件、大気については3件、その他が3件である。

■11月29日開催

**住居表示整備事業**  
古宮地区実施に向けた進み具合については、平成29年2月頃より対象区域の自治会役員と協議を行い、おおむね理解を得ることができた。

12月の定例会で字の廃止、字の区域の変更及び町の設定を議案として提出する。

【主な質疑応答】

**問** 二子地区については、自治会役員の理解を得られなかったため、住居表示に関する住民アンケートを実施した。

今後、制度のメリットや実施後の手続きについて、時間をかけ住民と話し合っていくことが重要である。

■11月29日開催(協議会)

**学校給食整備計画の変更**  
当初、南小の現給食室を改修し、増築を予定していたが、親子給食の実施にあたり床の高さを上げる必要性が生じた。

播小の給食調理業務の委託開始時期を平成31年度から1年遅らせる予定である。

【主な質疑応答】

**問** 平成29年度に基本設計を実施するが、内容についての説明時期は。

**答** 現在設計中であり完成後、委員会で報告する。



▲改修が必要な給食棟

# 議会運営

## 議会改革について視察

■11月7日視察

福岡県古賀市議会

議会改革・政策推進会議

政策推進会議は、市政に関し重要なものについて、議員間で共通認識と合意形成を図り、政策立案を推進することを目的

として行われている。これまで災害時の議会の業務継続計画(BCCP)の策定や、市長に対する公共交通体系の確立に向けた提言などに取り組んでいる。その際には、全議員による調査を行うなどの地道な活動も実施している。

■11月8日視察

長崎県諫早市議会

議会基本条例の検証について

諫早市議会では、議会基本条例施行後、毎年条例の検証を実施している。

条項ごとにA(十分達成された)、B(概ね達成された)、C(今後努力を要する)、D(評価の該当

また、古賀市議会議会運営委員会の委員との意見交換を行った。

なし)の4段階評価を行う。その後、課題の整理を行い解決のための取り組みを実施している。

この検証の結果として、議会用語集の作成や、会派による視察研修の全員協議会での報告などの様々な取り組みを行っている。

また、市内の大学による第三者評価も一度行っている。

播磨町議会でも議会基本条例の検証を行っており、今後の参考とする。

■10月16日開催

地方創生の鍵は次世代を担う人材の育成

兵庫県町議会議長会主催の議員研究会が、県下12町議会議員参加のもと、中央公民館で開催されました。

エルドリッチ研究所代表として、複数の町おこしや人材育成のプロジェクトに携わっているロバート・D・エルドリッチ氏の講演を聴きました。



▲古賀市議会での意見交換

そのような取り組みが、人口、労働者の流出の減少につながるの講演であった。

今後のまちづくりにおいて、必要な知識、情報を得ることができ、非常に有意義な内容であった。



▲播磨町に集う県下の町議会議員